

『阿修羅』出版記念対談

# 阿修羅のこころ

講師 精神科医 斎藤 環

作家・臨済宗僧侶 玄侑 宗久



斎藤 環氏



玄侑 宗久氏

撮影：東小園文隆

10月に『阿修羅』（講談社）を上梓した玄侑宗久氏。そのテーマは現代の精神科領域の先端にある解離性同一性障害だった。今回はその刊行を記念し、文学に詳しい精神科医・斎藤環氏を招き、『阿修羅』にも書かれなかった解離という病の現状と治療の実際など、対談形式で詳しいお話を伺います。人間の奥底に潜む無意識の世界を照射する対話をご期待ください。

日 時 2009年 11月 27日 金曜日 19:00～20:30

対談終了後、サイン会を行います。

受講料(税込み) 会員 3,360円 一般 3,990円(入会不要)

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター(申し込みは4階受付)

お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。講師の病気や受講生が一定数に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。



朝日カルチャーセンター | 新宿  
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル内 私信箱22号  
tel 03-3344-1945 (教養科直通)  
<http://www.asahiculture-shinjuku.com/>

## < 講師紹介 >

### 玄侑 宗久（げんゆう そうきゅう）

1956 年福島県三春町生まれ。慶應義塾大学文学部中国文学科卒業。京都天龍寺専門道場入門。現在、三春町・臨済宗妙心寺派、福聚寺住職。2001 年、『中陰の花』で第125回芥川賞を受賞。以来、小説、エッセイ、対談集など旺盛な著述活動を行っている。おもな著書に、小説では『リーラ 神の庭の遊戯』、『龍の棲む家』、『テルちゃん』など、仏教や禅にまつわる著作に『禅的生活』、『死んだらどうなるの』、『慈悲をめぐる心象スケッチ』、『現代語訳般若心経』など、また『あの世この世』（瀬戸内寂聴と共著）、『脳と魂』（養老孟司と共著）など対談集も多い。京都花園大学国際禅学科客員教授。

### 斎藤 環（さいとう たまき）

1961 年岩手県生まれ。筑波大学医学研究科博士課程修了。医学博士。現在、爽風会佐々木病院・診療部長。専門は思春期・青年期の精神病理学、病跡学、ラカンの精神分析、「ひきこもり」問題の治療・支援ならびに啓蒙活動。漫画・映画・その他サブカルチャー全般を愛好。著書に『生き延びるためのラカン』、『文脈病 ラカン、ペイトソン、マトゥラーナ』、『関係の化学としての文学』、『解離のポップ・スキル』、『関係する女 所有する男』など多数。